



病院事務

Fukushima Eri

医学部附属病院
経営管理課事業推進掛（主任）

福嶋 絵里

2008年採用

生体試料（バイオリソース）の利用に関する契約調整業務

クリニカルバイオリソースセンター内規作成業務

クリニカルバイオリソースセンターホームページ作成業務

クリニカルバイオリソースセンター予算管理業務

新病棟の新規人員採用業務

新規事業の開始に向けた調整業務



1 day Schedule

8 : 30	10 : 00	12 : 00	14 : 00	17 : 15
出勤	資料作成	昼休み	打合せ	退勤
メールチェック、予定の確認、本日のタスクの洗い出し。		他課の同僚とランチ。	新規事業のミーティング、クリニカルバイオリソースセンターの定例ミーティング。	
 ミーティングのアジェンダ確認、資料準備。				 定時退勤→保育園に子供のお迎え。



My KU PRIDE

“自分次第”

自分の想い次第で、自分の行動次第で、物事はいかようにも変えられます。自分がこうしたい、こうなりたいということを常に考え、自分主体の目的を持った行動を心がけています。

Q1 職務内容について



現掛では、生体試料（バイオリソース）の利活用を促進するための業務と2020年4月に開院する臨床試験病棟の開院準備業務を担当しています。ほとんどルーティン業務はなく、新しいものを一から作り出す仕事に携わることで、毎日非常によい刺激を受けています。病院幹部の先生方のみならず、大学の理事との打合せに同席することもしばしばあります。

現掛着任時に掛長から次のお言葉をいただきました。

「はじめてのことばかりなので、業務を進めていく上で、迷うこと、わからないことは多々あるけど、5年後、10年後の病院がどうなっているか・どうしたいかを想像しながら業務を進めてほしい」です。

判断に迷うときなどは、この言葉を思い出し、日々業務に励んでおります。

Q2 どういう人と一緒に働きたいか



病院での業務は、医療の高度化・複雑化や医療制度の改定、医療情報システムの更新など、知識に上限がなく、スピード感にあふれています。これまでに前例のない業務を任せられることもあります。そこで、現状に満足せず、何でも前向きに取り組む姿勢が必要です。新しい業務を行うときに、チャレンジする前に自分の限界を設けるのではなく、わからないなりに「少しずつでも前に進む」という気持ちを持っている方がいてくれると心強いです。また、病院での業務は内部、外部問わず非常に多くの方と関わります。それゆえ、一つの考えに固執せず、柔軟に対応ができることも重要です。これらの私見に共感いただける方と一緒に出来れば、嬉しく思います。

Q3 京大職員を目指す方へのメッセージ



病院業務というと診療報酬請求といった診療に直結した業務がイメージされがちです。しかし、病院内には現在私が属している掛のように診療とは直接関連しない部署もあります。診療に携わる掛で勤務していたときは、大学で働いているという意識がさほど高くありませんでしたが、現掛では大学本部とのやり取りも多く、病院にいながらも大学職員の一員であるということを強く感じています。勤続10年を超えた今初めて、病院の一員としてだけでなく、大学の一員として、大学の動向も視野に入れた業務活動が常に求められていると考えさせられます。自分の活躍したいフィールドが決まっている方にはもちろん、自分がどんな業務に向いているか今後検討しながらキャリアアップを図りたい方にも、活躍の場があふれた職場であると思います。

Q4 京大職員に転職して良かったこと



私は、産休、育休をそれぞれ2回取得しており、子供が3歳を迎えるまでは、育児部分休業も取得し、時間短縮勤務をしていました。計画的な休暇はもちろんのこと、突発的な休暇取得もしやすいため、子育てしながら、仕事との両立に恵まれた環境です。

周りに同じように子育て世代もたくさんいるためか、時間外の打合せや、宿泊を伴う出張にも配慮いただいています。転職を考える際にはいろんな事情や条件があると思いますが、ワークライフバランスの実現には非常に適した職場です。

Q5 私のお気に入り



病院的事務室を出てすぐにガラス張りの中庭風の場所があります。

空が見渡せるので、晴天の日は特に気分転換になりますし、中庭にある植物に水をあげてくださってる方の姿に癒しをいただきます。

また、ビール好きの私には、安価でビールが飲めるので、京大カフェテリアルネもお気に入りです。

保育園の迎えのまま、子連れで他部署のママ友と夕食を済ませて帰ることもあります。